

令和2年第3回木津川市議会定例会

請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	請願の要旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員 氏 名	付 託 委員会
2-3	令和2年 8月20日	コロナ禍のもと子どもたちの命を守り、豊かな学びの保障を求める請願	6月1日から全国の学校が3ヶ月ぶりに再開されて、子どもも保護者も不安を抱えての再会になりました。卒業式や終業式、また新しい学年のスタートの時期を含む3ヶ月もの長期休業は、子ども達に計り知れない影響を与えています。 長期にわたって授業がなかったことは、子どもの家庭環境などの違いによって、学習の進度に差が出た点も指摘されています。また、コロナ禍による家庭の困窮は、子どもに様々な影響を与え、家庭内のストレスの高まりは児童虐待の増加などをもたらしているとの報道もあります。 今後も続くであろう感染症への対応に加えて、子どもたちを受け止める手厚い教育が必要とされています。子どもの本音を受け止め、抱えている不安やストレスに共感しながら、心身のケアを進めていく手間と時間が必要です。そして、学習の遅れと格差に対しては、子ども一人一人に丁寧に教え、関わるのが欠かせません。 さらに子どもの集う学校では、万全の感染症対策を行う重要性は言うまでもありません。文部科学省は感染防止マニュアル『学校の新しい生活様式』を示していますが、現在の学級定数では安全な身体距離をとることができないことは明らかです。感染防止のため、安心して学べるよう、全国知事会、全国市長会、全国町村会の3団体も少人数学級の実施を求めています。 私たちは、木津川市議会に対し以下のことを請願します。 ①新型コロナウイルスから子どもたちの命と健康を守るためにも、少人数学級の実施を国に働きかけてください。 ②子どもたちの豊かな学びを保障するため、それに見合う教員の増加を国に求めてください。	木津川市いきいき子育てネットワーク 木津川市加茂町美浪 代表 田中 道子 木津川市南加茂台 小森 洋子 木津川市加茂町里 松田 森幸 木津川市相楽 田中 恒子	西山幸千子 山本しのぶ	総務文教 常任委員会

